

ICANN74 ccNSO関連報告

第64回ICANN報告会
2022年7月28日

株式会社日本レジストリサービス (JPRS)
高松 百合 takamatsu@jprs.co.jp

基本情報

- ccNSO（国コードドメイン名支持組織）

- 正式名称：

Country Code Names Supporting Organisation

- ICANNにおける位置づけ

- ICANNの活動を支える支持組織の一つ。
- ccTLDレジストリの連合体としてICANNの他支持組織や諮問委員会などと協調しながら、ccTLD全体にまたがるグローバルな課題についてポリシー案を作成し、ICANN理事会に勧告を行う。

- 会員数：172

7月に新たに.gw(ギニアビサウ共和国)が入会

JPRSは、日本を表す「.JP」を運用するccTLDレジストリとしてccNSOに参加。

※JPRSからは遠藤淳、高松百合が参加

ccNSOに関連する主な会合

※ 下線のセッションが特にccNSOメンバ向けの内容です。

※ 本日は、以下の①~③についてご報告します。

6月13日(月)	Tech day
6月14日(火)	Joint Session: ccNSO & GNSO Councils <u>ccNSO Policy Update: ①</u> <u>ccNSO Governance Session: ②</u>
6月15日(木)	<u>Roles of ccTLDs in DNS Abuse policies ③</u> ccNSO Council Meeting

① ccNSO Policy Update

概要

- 現在検討中のccTLDに関するポリシー2つに関し、ポリシー策定の進捗及び検討状況が共有された
- 検討中のポリシー ※ PDP = Policy Development Process/ポリシー策定プロセス
 - ccPDP3での検討内容
 - (1) ccTLDの委任終了のプロセス
 - (2) プロセスのレビュー方法検討
 - ccPDP4での検討内容
 - IDN ccTLD文字列の選定ポリシー

ccPDP3: ccTLDの委任終了プロセス等

(1) ccTLDの委任終了のプロセス

– 概要

- ccTLDの委任終了確定後、基本5年以内にルートゾーンから削除

– ICANN74での動き

- プロセス実装に伴うルール変更の会員内での投票およびICANNでの意見募集は完了し、ICANN理事会で今後審議予定

(2) プロセスのレビュー方法検討

– 概要

- delegation(委任)、transfer(移管)、revocation(解約)、retirement(委任終了)の判断に対するレビューメカニズム(再点検方法)の検討を実施

– ICANN74での動き

- レビューの実施者の要件、手続きの容易さについて、コスト等も意識しながら検討中

⇒ ICANN75前に最終案完成予定

ccPDP4: IDN ccTLD文字列の選定について

- 概要

- IDN ccTLDを申請する際の要件について検討
- WG内で継続議論中 ※JPRSから高松百合が参加

- ICANN74での動き

- WGでの検討方針をセッション参加者に共有
- IDN ccTLDが廃止になる際のトリガーイベント案をセッション参加者に共有し、意見照会を実施

例: IDN ccTLDに使用されている言語がその国・地域の
認められた言語でなくなった場合

⇒ セッション参加者から強い異論はなく、引き続き
案に沿って検討を行う

② ccNSO Governance Session

- 背景

- ccNSO運営関連のガイドラインを見直すGuideline Review Committee (GRC)が、ccNSO発足時に制定されたccNSOの運営ルールを、2022年現在の実情に即した形へ見直す必要性を認識

- 会員数は、ccNSO発足時は30（2004年3月）であったが、現在は172に増加

- ICANN74での動き →それぞれについて次スライドでご紹介

- (1) ICANN Bylawsの変更に伴うccNSO運営ルール改定案の共有

- (2) “Statement of Interest”の導入および”Conflict of Interest”に関するルール化の検討状況の報告

ICANN74での動き(1/2)

(2) ICANN Bylawsの変更に伴うccNSO運営 ルール改定案の変更点の共有

・概要

- ICANN Bylawにて、ccNSOの会員要件にIDN ccTLDも追加された
- 追加に伴い、ccNSOの運営ルールを変更
 - ASCIIとIDN両方が存在するccTLDは、ccNSOにおける投票の際には、当該国・地域で1票とするルールを導入

ICANN74での動き(2/2)

(2) “Statement of Interest”の導入および”Conflict of Interest”に関するルール化の検討状況報告

・概要

ccNSOにおいてこれまで明確にルール化されていなかった、以下2点に関し、ルール化に向けた検討状況を報告

- “Statement of Interest : 利害関係報告”の導入
 - ・ 自身/自組織のICANNでの各種活動状況に関し、所定のフォーマットを用いてあらかじめ共有する
- “Conflict of Interest: 利益相反”の扱いのルール化
 - ・ 自身/自組織が関与する事項を評議委員会で意思決定する際の投票や議論への関与の仕方をルール化にする
例: ccNSO選出理事の選任、旅費の支援など

③ Roles of ccTLDs in DNS Abuse policies

背景とこれまでの経緯

- 背景
 - DNS Abuseに関する議論がICANNコミュニティ内外で活性化している状況を受け、ccNSO内でccNSOができることは何かという議論がはじまった
- これまでの経緯
 - 「ccNSOがDNS Abuseに関してすべきことは何か」にフォーカスした議論を開始 (ICANN72～)
 - ccNSO評議委員会が設置したAd-Hocグループにて検討 (ICANN72以降～)
 - ccNSOとして取り組む内容に関するロードマップ及びDNS Abuse Standing Committee (DASC) の設立を決定 (ICANN73)
 - DASC初会合 (2022/5/31)

ccNSOとして取り組む内容

主なポイント

- ① Enhance Sharing of information (情報共有の仕組み/場の強化)
各レジストリでの活動を共有し合うプラットフォームとしての
ccNSOの機能の強化
- ② Messaging (ccTLDの特性の外部への発信)
様々なステークホルダー(GAC/政府、GNSO等)に向けた
ccNSOおよびccTLDコミュニティの特性(例: One size does
not fit all)に関する情報発信
- ③ DNS Abuse Standing Committee (実装に向けた委員会の設置)
取り組み内容の実現・実装に向け、具体的検討を実施
- ④ Metrics (ccTLDの状況を観測可能とするための取組実施)
ccTLDが各自の状況を把握するための方法(DAAR等)
を整理

ICANN74での動き

概要

– ccTLDそれぞれのDNS Abuseに対する取組を共有

- 本セッションはDASCが中心となり企画
- .bw(ボツワナ)、.hk(香港)、.si(スロベニア)、.pa(パナマ)、.us(アメリカ)がそれぞれの事例を紹介

Views of ccTLDs on DNS Abuse

What are their top priorities?
What do they do to mitigate DNS Abuse?

ICANN | ccNSO

Nick Wenban-Smith Moderator
Tatiana Tropina Moderator

今後の取り組み

– DASCが中心となり、同様の情報共有の場などを今後も企画する

